

## 【ディベートの部(10/30, 31) : 実施要領】

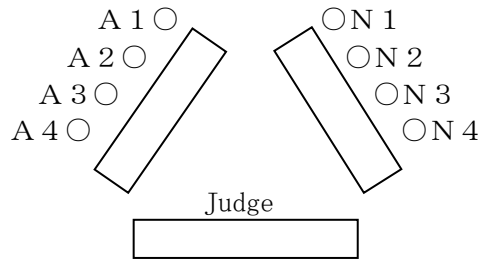
- 1 参加資格
  - ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する3年生までの生徒。
  - ・英語のネイティブスピーカーは不可。
  - ・以下の海外生活経験者等の条件に該当するものはチームに2名まで。
    - ※ただし、試合には該当生徒のうち1名のみが出場できる(該当の2名は交代で出場できる)
    - (1) 英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒(就学前の滞在は不問)
    - (2) 英語を第2言語とする国の出身である生徒(就学前の滞在は不問)
    - (3) 家庭で常用的に英語を使っている生徒
- 2 チーム構成
  - ・各校2チームまで(参加チーム数が奇数の場合、例外あり)、1チーム6名までとする。
  - ・原則として試合への出場は4人で、試合毎にメンバーの入れ替えは可能(ただし、チーム登録できる選手が3人しかいない学校についてのみ、例外を認める)。
  - ・**他校との合同チーム編成可(但し、全国大会へは出場できません)。**
- 3 参加方法  
原則、参加者一人一人が、個々のカメラ・マイクつき端末(PC・タブレット・スマホ)で参加する(自宅からの参加も可)。また、参加時は学校名と参加者氏名を表示し、ビデオはオン、音声は発言時以外はミュートとする。
- 4 対戦方法 Zoom を使ってオンラインで予選4試合を行った後、上位4チームが決勝トーナメント(2日目)へ進む。
- 5 論 題

Resolved: That the Japanese Government should relocate the capital functions out of Tokyo.  
(日本政府は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か。)

※付記事項、追加ルール等の補足・詳細については全国高校生英語ディベート連盟ホームページ <http://henda.global/> を参考にします。
- 6 競技規則 競技は全国高校生英語ディベート連盟の「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて行うものとする。上記の連盟ホームページを参考にしてください。
- 7 参加費 1チームにつき3,000円
- 8 申込方法
  - ・参加申込書に必要事項を記入し、全道事務局にメールで提出して下さい。
  - ・大会について不明な点は全道事務局までお問い合わせ下さい。
  - ・申し込みが奇数校の場合、出場校を偶数にそろえるため、さらに1チーム追加出場させることを希望する学校は、申込書にその旨を記載してください。
  - ※出場申込書は、国際交流専門部 HP (<https://kokusaikouryu.jp.net/>) よりダウンロードできます。
  - ※メール送信先：道高文連国際交流専門部事務局(札幌国際情報高校) 担当：小林 康洋  
MAIL: koba0922@hokkaido-c.ed.jp
- 9 申込締切 令和3年10月1日(金)までに出場申込書をメールで提出してください。
- 10 選抜方法 参加校数(チーム数ではない)に応じて、全国大会出場枠が与えられる。
- 11 表 彰 1位・2位にカップ+賞状、3～4位に賞状を授与。  
その他、個人賞としてベストディベーター賞を選出。  
上位校は12月18日(土)～19日(日)にオンラインで行われる全国大会への出場権が与えられます。
- 12 そ の 他
  - (1) 地区大会を開催する支部もありますが、地区順位にかかわらず参加可能です。
  - (2) 引率の先生方にはジャッジをお願いします。
  - (3) 複数チーム参加する学校は、複数のジャッジの参加派遣をお願いします。
  - (4) オンライン大会は全国大会を参考に実施します。国際交流専門部 HP の「英語弁論大会」→「2020年10月15日第1回高校生英語ディベート HEnDA 合同予選大会オンライン実施要項について」→参照 HEnDA: オンライン大会基本方針 もご一読ください。
  - (5) その他、国際交流専門部 HP (<https://kokusaikouryu.jp.net/>) を参照してください。
- 13 事務局 札幌国際情報高校 小林 康洋  
TEL: 011-765-2021 MAIL: koba0922@hokkaido-c.ed.jp

**発言の順番**

A : 肯定側



N : 否定側

発言者	役割と内容	時間
A 1	①肯定側立論 (Advantage は 2 点まで出せる)	4 分
	準備時間	1 分
N 4 → A 1	②否定側質疑 (否定側 N 4 からの質問に肯定側 A 1 が答える)	2 分
N 1	③否定側立論 (Disadvantage は 2 点まで出せる)	4 分
	準備時間	1 分
A 4 → N 1	④肯定側質疑 (肯定側 A 4 からの質問に否定側 N 1 が答える)	2 分
	準備時間	2 分
N 2	⑤否定側アタック (肯定側の立論のみに対して)	3 分
A 3 → N 2	⑥否定側アタックへの質問 (肯定側 A 3 からの質問に否定側 N 2 が答える)	2 分
A 2	⑦肯定側アタック (否定側の立論のみに対して)	3 分
N 3 → A 2	⑧肯定側アタックへの質問 (否定側 N 3 からの質問に肯定側 A 2 が答える)	2 分
	準備時間	2 分
A 3	⑨肯定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3 分
N 3	⑩否定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3 分
	準備時間	2 分
A 4	⑪肯定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3 分
N 4	⑫否定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3 分

**42 分**